

平成 31 年度生徒会役員任命式激励の言葉

生徒会で諸君が学ぶことは何だろう。去年ここで言ったけど覚えているかな。覚えていないようだね。公とか公共ということです。生徒会を組織するとは学校の中に小さな国を作るということだ。憲法にあたるのは？

生徒 A「附中 7 箇条です。」（意気込みが感じられますね・・・）

そうではなくて、生徒会テーマが憲法にあたるものだ。

じゃあ首相にあたるのは？

生徒 B「会長です。」

そうだね。そうしてここに座っているのは公務員ということになる。また委員もすべて公務員だ。そうして生徒全員が国民だ。

公務員の仕事は国民がよく生きることができるよう仕組みを作ることだ。それと同じように生徒会役員を含めすべての委員はみんながよく生きていけるような仕組みを作らなければならない。そうしてみんなはそうした活動を支えなければならない。

そこで質問です。諸君は人間関係に関して、どんな生徒会を作りたい？

生徒 A「附中 7 箇条を実現できる生徒会にしたいです。」（附中 7 箇条に対する思いは相当強いですね。）

うん、でも『人間関係に関して』どんな生徒会を作りたいのかを聞いているんだけど。

生徒 C「あいさつが出来る人間関係を作って行こうと思います。」

あいさつが出来る人間関係ってどんな人間関係？

生徒 D「つながりを大切にした人間関係」

けんかするのも人間関係だよ。

生徒 E「先輩も後輩も時にはバカもいいながら、好きなことが言い合えるような人間関係だと思います。」

なるほど。みんなが仲良く（争わず）、自由に発言できるような生徒会、ということだね。

簡単に言ってくれたけど、本当に出来るのかな。人間はどうしても仲間で固まろうとする。そうすると敵が出来る。仲間内でも反対意見を許さないような空気が出来上がる。これを「**排除と同化**」という。何故かな。そう。人間が本質的に**不安と孤独**を抱えているからだ。それで仲間で固まってその中で安心する。「排除と同化」、これが戦争やいじめの根本原因だ。排除と同化のない共同体。これはとても**高い理想**で、人類が到達することの出来ないものだ。みんなが仲良く、自由に発言できる生徒会。それをめざして行って欲しい。みんなでいい生徒会を作って欲しい。そうしてその中で人間を学んで行って欲しい。終わります。